

# JMAT活動報告

## 【能登半島地震におけるJMATの活動について】

2月5日～9日、2月19日～23日の間、当院医師1名、業務調整員1名、看護師2名の4人1組で2隊が金沢市、小松市で活動してきました。活動内容を報告します。

### 【JMAT】

日本医師会災害  
医療チーム

荻野浩美 村田香織

高木寿子 根本由佳李

### 第1隊

活動場所：石川県金沢市

活動期間：2月5日～9日

【移動日(2月5日)】

病院を出発。

常磐自動車道→磐越自動車道→北陸自動車道で石川県へ移動。

石川県庁で受付をし、金沢市内のホテルに宿泊。

【活動日1～3日目(2月6日～8日)】

石川県庁でミーティング後、金沢市内のホテル、民泊、旅館、健康

センター、アパート等の避難施設を訪問し、健康観察を実施。

【移動日(2月9日)】

北陸自動車道→磐越自動車道→常磐自動車道でいわき市へ帰還。



レンタカーに薬剤  
や医療設備などを積  
んで石川県へ。



石川県庁



ミーティングの様子。  
JMAT本部、他部隊と情報共  
有をしています。



## 活動の様子



避難施設の一覧  
から訪問する順  
番を決めていく



訪問先に連絡し訪問  
の許可を取る作業も



持病がある方や希望  
された方のお部屋を  
訪問しお話を伺う



問診や血圧測定を行い必  
要があれば保健所と連携  
し受診のサポートをする

## 〈活動中に感じたこと〉

震災に遭い一瞬にして被災者となり住み慣れた街から離れ避難生活を送ることの辛さを目の当たりにし、医療だけでなく行政などとも協力し支援を続けることの必要性を感じました。被災者の方々と関わる中で、避難施設での制限された生活や他人との共同生活によるストレスも感じられ、もう少し思いを傾聴する時間が取れたら良かったのではないかと思います。身体的にも精神的にも制限されている生活だからこそ日替わりでも医療者が関わることで少しでも穏やかに過ごせる時間が増えたり人との繋がりを感じていただけたら良いなと感じました。

全国各地から多くの医療チームが集結しており、東日本大震災を経験した私たちにとっては、こうしてたくさんの方々に支えられていたのだということを再認識できる機会にもなりました。



送り出してくださった皆様へ  
多忙な業務の中、快く送り出してくださり  
本当にありがとうございました。